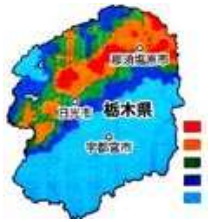
放射能から子どもを守り
１人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.03.02//no.19



赤10～30万,黄6～10万
緑3～6万、紺1～3万
水色～1万 ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08. 02現在換算値

〈放射能の恐ろしさを考える〉－2

日光でもさまざまな疾病の可能性!!

日光市は、年間100ミリシーベルト以下なら「大丈夫」と言います。これは100人に1人がガンを発症する基準です。現在、政府でさえ年間1ミリシーベルト以下に除染を進めています。このギャップは何なのでしょうか。

子どもたちへの健康疾病
チェルノブイリ原発事故による長期低放射線被曝

反復性の呼吸器･消化器疾患、内分泌疾患、免疫力の低下、白内障、がん、先天異常、心臓血管系の疾病による胸痛（高血圧、低血圧、心電図異常など）、脳神経系の疾患、糖尿病、疲れやすい、周囲に無関心、加齢の促進.一人で2つ以上の病気を持つ子どもが多い。健康な子どもの割合が20%程度になる。

放射能は、国際的に、これ以下なら安全という考え方はなく、危険という認識です。そして、社会条件で最大限に放射線被ばくを防ぐ対策をする。この考えは米国科学アカデミー、国連科学委員会、国際放射線防護委員会、欧州放射線リスク委員会です。

さて、アメリカでは、原子炉を閉鎖したことで、2年後周辺に住む乳児の死亡率が激減し最大マイナス 54.1%の記事があります。主な病気の減少はガン、白血病、異常出産などです（2000.04.27/東京新聞）。また、長期的低放射線量被ばくや、飲食･空気からの内部被ばくの影響で、世界中で放射能汚染による疾病が報告されています。

チェルノブイリ原発事故で放射線被ばくに敏感な子どもたちは、ガン以外に、さまざまな疾病が報告されています。 ベラルーシでは、事故前の1985年、健康な子どもが85%でしたが、1999年に20%に激減。慢性疾患の子どもが10%から20%に増え、すべての医療分野で2．3倍に増加しました。

日光市の放射線量汚染でも長期低放射線被曝、内部被ばくで、同じような疾病の可能性があると考えられます。5年後、10年後･･･

風が吹くときは
マスクをしよう!!
布団干し、洗濯物は室内で

風の吹く日は、地表の放射性物質をまきあげ、それを吸い込むことになります。身体に入ると内部被ばくの危険が高まります。また、布団・洗濯物に放射性物質が付いては困ります。チョッとの注意の心がけを！

日光市の該当するゾーンは？

❑チェルノブイリ･ゾーン ❑〈1999.ナスビット論文より〉

① 移住義務ゾーン	5mSv/年以上
② 移住権利ゾーン	1 mSv/年以上
③ 放射能管理強化ゾーン	0.5 mSv/年以上

②移住を希望すれば資金など支援。
③厳重な放射能汚染対策を実施する地域。

❖年1mSv/時 0.114μSv/公衆被ばく限度基準/ICRP
内部被ばく含まず、成人対象/妊婦、乳児など敏感無視

❑ 政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv ❑
〈日常生活で8時間以上屋外活動禁止が前提など〉
❑栃木県原発崩壊前//0.030～0.067μSv/h❑

日光市放射能汚染分布
2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm
マイクロシーベルト/以上～未満

0.1 未満	1ヶ所	0.2%
0.1-0.2	155ヶ所	28.8%
0.2-0.3	187ヶ所	34.8%
0.3-0.4	152ヶ所	28.3%
0.4-0.5	30ヶ所	5.6%
0.5-0.6	10ヶ所	1.9%
0.6-0.7	2ヶ所	0.4%
0.7-0.8	1ヶ所	0.2%

鬼怒川、大谷川の渓流釣り解禁延期！！ 検査結果〈02.24/県農政部〉

❑栃木県の測定//魚の身だけ(専門家は内臓、骨を含めても同じ) **本当ですか？？**
❖ヤマメ//大谷川 52Bq/kg、小百川 215.7Bq/kg ❖イワナ//小百川 269.0Bq/kg
〈2012年2月〉❖ヤマメ//渡良瀬川 162.6Bq/kg
〈5月〉❖ヒメマス//中禅寺湖 54Bq/kg 〈9月〉❖ワカサギ//中禅寺湖 175Bq/kg
❑土壌汚染 2011.10.09〈セシウム/Bq/kg〉//大谷川 8700.鬼怒川 3400.板穴川 3200.
10.18//湯ノ湖 260. 中禅寺湖 850. 五十里ダム 1440. 10.19 川治ダム 3300

〈放射能の危険〉見たり聞いたり話したり

❑日光放射線高いのに？

外に出ていたお母さんと2人の子どもに話をすると、震災前に福島県から日光に来たとのことです。日光だって高い線量なのに普通に生活していて驚いていました。実家では、放射線のことを心配しています。子どもたちは田舎の放射能の危険について聞いているようです。お母さんに、周りの人や、学校に危険なこと言ってくださいと話していると、子どもたちは、学校から何も聞いていないので、「先生に聞いてみる」と････

❑昔だったら子どもはたいへん？

昔、子どもたちはよく外で遊んでいたけど、孫たち、今の子は、いつも家の中で

❑学校で危険と聞いてる？

子どもたち数人に、「学校で放射能の危険なこと聞いてる」と尋ねると、多くの子は「聞いていません」。何人かの子は、放射線を知っていました。両親やテレビでの情報です。学校は毎日測定しているだけで、子どもたちに放射能の危険性を話していません。先生によっては放射線の危険を子どもたちに「どんなところが線量が高いのかを知らせて、近づかないように指導しています」との話を聞きます。

――――――――――――

ゲームや勉強、外で遊んじゃダメと言わなくてすむから、いいのか悪いのか。昔なら子どもたちはたいへん。〈大室地区〉

❖チラシ･バックナンバー見れます//PDF http://atsugichild.web.fc2.com/
〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288-26-0130//nairamdal-1871@dream.jp

会報「大自然」NO.51-2011.09.07〈日光の自然を守る会〉から転載//抜粋

自然災害(地震･津波)、人的災害(原発事故)

山下　正和

福島の被災地から避難馬輸送を2往復運行し、国道4号線をはじめ各県道市道も亀裂や段差、凹凸が発生して、捻じれうねって緊張運転の連続でした。津波にのまれた海岸地域を目にし「ええッ･･･」と思わず声をあげ、湾内の集落全体がガレキの山となって産業廃棄物集積場状態で漁船や車が積み上げられ、住宅が壊滅、木造家屋は「ここまで壊れるものか…」と、バラバラに細かい木材クズのように壊れておりました。

＊　＊　＊

日本では地震と併発して津波や火事、火山噴火による降灰や火砕流被害、台風、集中豪雨による土石流水害など自然災害は繰り返し起きております。戦争という人災、大きな被害、災害に遭っても速やかに復旧･復興が果たされました。しかし、原子放射能飛散は、復旧の大きな障害となっています。

自然界で起きる自然現象災害では自然界で循環浄化により完全復元されるのです。

他方、原子や元素物質は利便性の使用価値と生命に関わる危険性を持つことを肝に命じなければなりません。この度、原発事故による放射能飛散の放射性物質「セシュウム」と「ヨウソ」は自然界には存在しないと知りました。セシュウムは全身に、ヨウソは主に甲状腺に取り込まれ、数年後から白血病や甲状腺ガンの発症率が高くなると予見する医師･医療機関があって、将来に大きな不安を引きづっていくかも知れないのです。

福島第一原発事故は放射能漏れ、飛散の重大な問題となり、原発を推進して来た世界各国に「福島の教訓」「脱･原発」の再考と決断を促す機運が高まっております。

＊　＊　＊

この原発事故で、原発に替わる安全で環境にやさしいソーラー、風力、地熱と、水力発電が見なおされています。横田隆氏(現副代表)は、2代目会長森谷憲(宇都宮大学名誉教授)氏が30数年前の講演で「火力発電所や原子力発電所の建設は日本の将来、環境に悪影響を及ぼす、自然環境悪化が予測され憂慮している。山岳河川の多い日本では、水力発電が安全、30年後に気づくだろう…。」と力説されたそうです。

当時は、まだソーラーや風力発電の技術が具体化しておらず自然エネルギー発電と言えば水力が主流の時代でした。自然を守り、環境保護を理念とする森谷先生らしい先見の眼と予見予測が30数年の時を経た今日、まさに的中したのです。〈つづく〉

❑**538**カ所/2011.10.03～12/**日光市測定**(地上50cm　1km間隔で測定)　毎時マイクロシーベルト

❖**今市地域**　0.19-0.19-0.22-0.25　❖**七里地域**　0.35-0.35-0.35
❖**森友地域**　0.23-0.23-0.24-0.29　❖**荊沢地域**　0.25-0.39　❖**芹沢地域**　0.22-0.24

５年後、子どもと笑って過ごしていたいです♪
7

今、どんなに苦労しても。。。恥をかいても

○×市在住/仮名　ナナオ

日光は、さらに大変だと思います。あんなに線量高いのに、誰もなにも騒がないのは異常ですね。ネットを持ってる人が少ないのかしら？？？ちょっと、検索すればいかに危険なものかわかりますし、過去のチェルノブイリの情報もわかるのに。。。

よっぽど、東京とか神奈川の人たちの方が関心高いし、積極的ですね。

『栃木県』という県民性ですかね。。。

農業県、観光県、酪農県というのもありますしね。。。

“地球に針を、突き刺してる程度”でも、頑張りましょうね！

未来の子どもたちのために。。。

5年後も笑っていられるようにしましょうね！！

ちなみにわたしは看護師なので、がん患者や白血病患者をたくさん今まで看てきています。それがどんなに悲惨なものか、過酷なものかも知っています。

日光の市長さんも、観光面とかで気にして、放射能のこと無視してないで、いっそのこと、【日光は放射能高いけど、除染して落ち着くまでちょっと待っててね！】キャンペーンとかを、どうどうとしちゃえばいいのに。。。

ここは敢えて＜カミングアウト＞することで、ひいては日光のためになると思うんだけどなぁ～。マスコミなんかも、日光えらい！！！とか取り上げてくれるんじゃないかな？

線量高いのに黙ってて、後でばれて、日光は線量高いのに何もせず観光客を受け入れてた！！な～んてことになったら、それこそマイナスイメージで、ずっと信用されなくなっちゃいますよね。。。

わたしは日光大好きです。

誰か死なないとわからないのでしょう。誰か死ねば、気づくのでしょう、きっと。

いや、死人が出ても”、関係ない”の一点張りだな、きっと。。。

あと、5年後！！いや、4年後、！！！いや、2年後にきっと、症状が出てきます。死人も出るでしょう。それでやっと、政府や行政は動くのかな～？

わたしは、5年後、子どもと笑って過ごしてたいです♪

今、どんなに苦労しても。。。恥をかいても、お金かかっても。。。〈次号に、つづく〉

❑「こども　まもりたい」神奈川県内市民グループ　http://ameblo.jp/hirohaco/
❑厚木子どもを守りたい　http://atsugichild.blog.fc2.com/blog-category-23.html

❑**支援のお礼**❑この間、市内、県内、地方のさまざまな人、知人から励まし、支援は大きな支えです。一部紹介/五十嵐(会津若松市)さん/大量の紙･食料など.奥田(埼玉県)さん1万円.その他.